

ケアプランデータ連携システム実践報告

社会福祉法人 奥州いさわ会
胆沢地域包括支援センター

事業所概要



施設名	胆沢地域包括支援センター
施設種別	介護予防支援
開設日	2020年4月1日
所在地	〒023-0401 岩手県奥州市胆沢南都田字大持30番地

今回取り組んだ職員

ケアマネジャー 5名

ケアプランデータ連携システム導入前の状況

各種書類業務についての課題感

要支援のケアマネジメント委託が多く、給付管理の締切直前（5日前）に実績が集中して届くため **確認業務の負担が大きい**

ありたい姿

実績の確認を円滑に連携できるようにし

利用者のアセスメントに時間を使えるようになりたい

取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

提供表の交付にかかる時間

240分

実績表の受領にかかる時間

1,701分

合計 1,941分

ケアプランデータ連携システムを**使用**

提供表の交付にかかる時間

275分

実績表の受領にかかる時間

981分

合計 1,256分

約**35.3%**
短縮

685分の削減

取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

「提供表」の交付（包括→事業所）に関連する業務内容

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

工程	手段	業務工程（アナログ）	所要時間（分）
前工程		提供表の印刷	63
		印刷した提供表の仕分け	18
書類交付	持参	対象事業所への移動	155
		提供表を手渡し	
	FAX	表紙作り	5
		提供表をFAXで送信	
合計時間			241

ケアプランデータ連携システム（アナログも併用）を**使用**

工程	手段	業務工程（アナログ）	所要時間（分）
前工程		提供表の印刷	62
		印刷した提供表の仕分け	80.5
書類交付	持参	対象事業所への移動	63
		提供表を手渡し	
	FAX	表紙作り	24
		提供表をFAXで送信	
合計時間			230

工程	手段	業務工程（データ連携）	所要時間（分）
前工程		介護ソフトにて送信用データ（CSV）作成	45
書類交付	連携システム	ケアプランデータ連携システムにて一括送信	
合計時間			45

事業所内の人事異動による調整や支援計画書更新者の増加により仕分けやFAXに要する時間が合計80分増加していた

対象事業所数：37

対象事業所数：24

対象事業所数：13

ケアプランデータ連携システムの使用前後で移動や手渡しは **約90分間削減**

すべてケアプランデータ連携システムに移行できれば **4 工程削減**

取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

「実績表」の受領（事業所→包括）に関連する業務内容

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

工程	手段	業務工程 (アナログ)	所要時間 (分)
書類受領	郵送	郵送での受領	5
	FAX	FAXでの受領	5
後工程		実績表の仕分け	278
		実績表の確認	553
		実績表の入力	805
		書類保管	55
合計時間			1701

ケアプランデータ連携システム（アナログも併用）を**使用**

工程	手段	業務工程 (アナログ)	所要時間 (分)
書類受領	郵送	郵送での受領	0
	FAX	FAXでの受領	0
後工程		実績表の仕分け	41
		実績表の確認	327
		実績表の入力	565
		書類保管	18
合計時間			951

工程	手段	業務工程 (データ連携)	所要時間 (分)
書類受領	連携システム	ケアプランデータ連携システムにて受領	30
後工程		介護ソフトに送信用データ (CSV) を取込	
合計時間			30

このアナログ作業をデータ連携に移行するとさらなる時間削減が見込める

対象事業所数 : 37

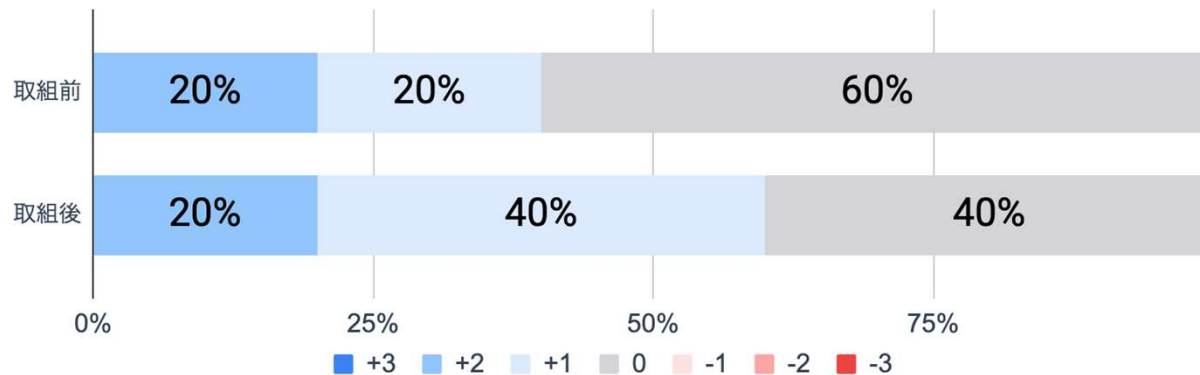
対象事業所数 : 24

対象事業所数 : 13

ケアプランデータ連携システムの使用前後で **約720分間削減**
 すべてケアプランデータ連携システムに移行できれば **2 工程削減**

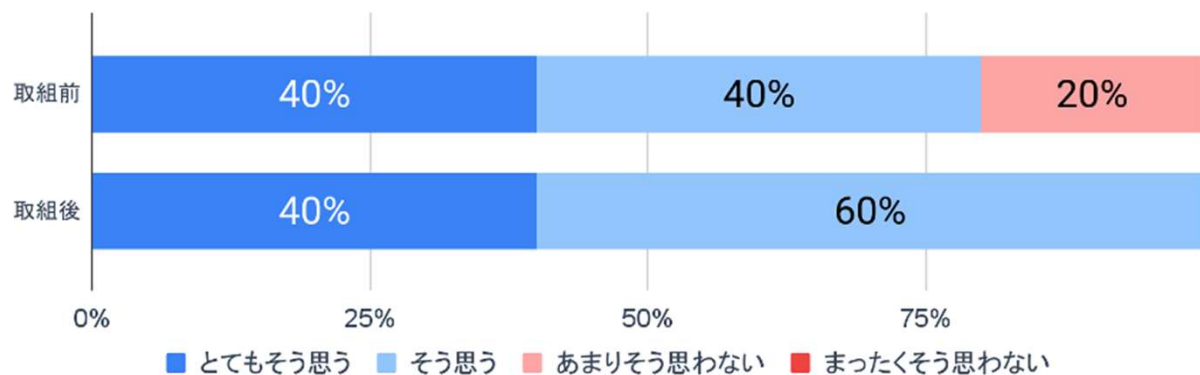
取組成果 「モチベーションの変化」

テクノロジー導入等による、仕事のやりがいの変化



システム使用前に比べ
仕事にやりがいを感じている
職員が増加した

この仕事にやりがいや誇りを感じながら働けていますか？



システム使用前に比べ
全職員がやりがいや誇りを
感じるようになった

取組成果 「実際の職員の声」

使用して良かったこと、便利だと思ったこと

- CSVデータを取り込むだけで完了するので
実績の確認や入力がとても楽になった
- 自分たちが実際に使うことで、まだ導入していない事業所に
具体的にケアプールの説明ができるようになった

特に実績の確認や入力が楽になるので
事業所からも前向きな反応が得られるようになった

取組みを振り返って

課題点

- csvで実績を取り込んだ後、間違っ
て実績のボタンを手動で押して変更した
時に元の実績の確認方法がない

解決策

- 誤操作により実績を変更してしまった
場合は、その部分のみ連携元事業所へ
確認しデータの整合性を担保している

ケアプランデータ連携システムを实际使ってみて思ったこと

今思えば導入、活用するポイントはここだった！

これまでは負担に気づきにくかったが

取引先はポスト投函や事務員への手渡しで対応しており
実際には毎回、数十分をかけて実績書類を届けてもらっていて
相手に大きな負担をかけていた



ケアプーを使えば、相手も持参する必要がないので

自分たちだけでなく「**相手も楽になる**」のが

ケアプーのいいところ

ケアプランデータ連携システムを实际使ってみて思ったこと

事業所との連携・つながりの大切さ

<ケアプランデータ連携システムを实际に使ってみて感じたこと>

それは、導入しただけでは、これまでのやり取りの方法は変わらないということだった。

システムを入れても、意識しなければ
つい「いつもどおり」の手段で連絡や書類のやり取りをしてしまう…

そこで、**ケアプーを積極的に使うための一工夫**として
導入済みの事業所に対し、事前に電話で「**今月はケアプーで送ってもいいですか？**」
と声をかける取り組みを行った

この一言がきっかけとなり
「**使ってみよう**」「**今回はケアプーでやってみよう**」という合意が生まれ
实际の利用につながっていった

今後に向けて

これから導入・活用する事業所の皆さんに伝えたいこと

実際に使ったら本当に楽になりました
自分が入れることで「相手も楽になる」ので
皆さんと一緒に導入していきましょう！

